

総研発第 49 号

平成 17 年 9 月 28 日

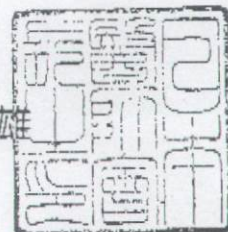
都道府県医師会長 殿

郡市区医師会長 殿



日本医師会

会長 植松 治雄



医師会病院等の「建設セカンドオピニオン」の調査研究における
ケーススタディ案件の募集について

拝啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

日医総研が行った、平成 16 年度の調査研究「民間の医師会病院・介護施設等での建設コスト削減等のための『建設セカンドオピニオン』のあり方」(日医総研報告書第 74 号)において、建設コスト削減面での「建設セカンドオピニオン」の有効性が明らかになりました。しかし、その一方で基本計画・基本設計の段階からの検討や、耐震改修における検討といった課題も明らかになりました。

そこで本年度の「医師会病院等の建設セカンドオピニオンの主要課題に関する調査研究」の一環として、病院・診療所等の新築及び耐震改修において、「建設セカンドオピニオン」のケーススタディを希望する会員を募集することと致しました。

つきましては、別紙「日医総研 医師会病院等の建設セカンドオピニオンの主要課題に関する調査研究 ケーススタディ案件募集のご案内」について、貴会会員の先生方にご周知、ご案内頂きますようお願い申し上げます。

なお、申込については、別紙添付の「申込書」に必要事項をご記入の上、日医総研宛 FAX にてお送り下さいますよう、お願い申し上げます。

敬具

小郡三井医師会より

担当理事 蒲池 壽

日医総研

医師会病院等の建設セカンドオピニオンの主要課題に関する調査研究
ーケーススタディ案件募集のご案内ー

この度日医総研では、平成16年度の調査研究「民間の医師会病院・介護施設等でき建設コスト削減等のための『建設セカンドオピニオン』のあり方」(日医総研報告書第74号)より導かれた、主要課題を更に検討するため、平成17年度における「医師会病院等の建設セカンドオピニオンの主要課題に関する調査研究」としてケーススタディを行うこととなり、「建設セカンドオピニオン」を希望する日医会員の申込者を募集することと致しました。

ここで「建設セカンドオピニオン」とは、建設コスト削減や、建設後の運営が適切に行われる建物を実現するために、設計図や改修計画書及び見積書を経験豊富な専門家が検討することによって、適正な建設費や設計・改修計画の実現に資することです。

ただし、本ケーススタディでは下記に示すような条件に合致する新築計画や、既存施設の耐震改修計画の「建設セカンドオピニオン」に限定することとします。

「建設セカンドオピニオン」をご希望の日医会員の方は、下記応募方法に沿って日医総研までお申し込みください。今回の募集は、「建設セカンドオピニオン」に関する調査研究におけるケーススタディの一環で、ご応募多数の場合は大変申し訳ありませんが、当方の条件にあった案件を選定した上で実施させていただきます。

なお、寄せられた情報は、本調査研究の目的以外には使用しないとともに、外部に提供は致しません。

募集の目的

建設コストの削減や、建設後の運営に際しても適切な建物を建設するためには、その設計内容や建設費見積内容の専門家によるチェック、すなわち専門的な第三者による「建設セカンドオピニオン」が求められています。

そこで日医総研では日医会員のご協力により、平成16年度の調査研究として「民間の医師会病院・介護施設等でき建設コスト削減等のための『建設セカンドオピニオン』のあり方」を実施し、「建設セカンドオピニオン」の有効性とその方法論のあり方について検討を行いました。

その結果、「建設セカンドオピニオン」の有効性が明らかになると同時に、次のような課題も明らかになりました。

- ①基本計画・基本設計の段階からの建設セカンドオピニオンの重要性
- ②新設だけでなく耐震改修における建設セカンドオピニオンの必要性

こうした課題に対応するため、今年度は実際に医療施設等の新築や耐震改修(設計図書や耐震計画書の作成及び建設・改修の発注)を予定している医師会病院等民間の診療所・病院を対象に、新築施設の基本設計段階での「建設セカンドオピニオン」や、耐震改修における「建設セカンドオピニオン」(基本設計段階のもの)を中心としたケーススタディを行うこととしました。すなわち、本ケーススタディは医療施設等の適正かつ効率的な建設、及び耐震改修の実現に資することを目的とするものです。な

お、平成16年度の調査研究の結果については、日医総研報告書第74号を参照して下さい。

応募者・募集対象案件・募集件数

今回の募集は、原則として医師会会員を対象に行います。

また、募集する対象案件は、医師会病院等民間の新設或いは既存診療所・病院で、次にお示しするような条件を持った建設計画或いは耐震改修計画の案件とします。

更に、今回募集する件数は新築、耐震改修各々2～3件程度を予定しています。

募集の対象となる案件の条件

- A 診療所・病院の新築の場合（2～3件程度）
 - ① 設計事務所や建設会社が、現在基本計画や基本設計図（詳細な実施設計の前の段階）を作成・検討中か、或いは平成18年1月31日までに作成する予定のもの
 - ② 建設セカンドオピニオンを検討することについて、関係する設計事務所・建設会社より了解がとれているか、或いは今後とれること
- B 既存診療所・病院の耐震改修等の場合（2～3件程度）
 - ① 設計事務所や建設会社等が、現在耐震改修計画書や基本設計図（詳細な実施設計の前の段階）を作成・検討中か、或いは平成18年1月31日までに作成する予定のもの
 - ② 建設セカンドオピニオンを検討することについて、関係する設計事務所・建設会社等より了解がとれているか、或いは今後とれること

建設セカンドオピニオンの内容

建設セカンドオピニオンの内容は、原則的に下記のような内容を想定しています。

- A 診療所・病院の新築の場合
 - 病院・診療所の適正な運営と建設コスト削減を目指した、基本設計段階での「設計改善の提案」や「建設コスト削減方法の提案」
- B 既存診療所・病院の耐震改修の場合
 - 病院・診療所の適正な運営と改修コスト削減を目指した「耐震改修計画・設計の改善提案」や「改修コスト削減方法の提案」

受付期間・選定結果の連絡期日

○受付期間／平成17年9月26日(月)～10月31日(月)

○選定結果の連絡期日／平成17年11月7日(月)までに順次ご連絡します。

実施期間

実施期間は、現在下記の期間を予定しています。ただし、応募して頂いた案件の条件により変更することがあります。

○建設セカンドオピニオンの検討／平成17年11月8日(火)

～平成18年3月31日(金)

本ケーススタディに関する費用

本ケーススタディにおける基本設計段階での建設セカンドオピニオンについては、原則として無料です。

なお、建設セカンドオピニオンを検討するための、仕様書・設計図等の資料(複数のコピー等)については、ケーススタディ申込者の負担とします。

応募方法**応募方法**

1. 申込者は、次のような要件を申込用紙(4ページ～6ページ)に記入し、日医総研ファクシミリでお申し込みください。
 - ・ 氏名(本件にかかる医療機関の責任者)、連絡先住所・電話番号・FAX番号
 - ・ 所属機関名、役職名、所属医師会名
 - ・ 申請する案件の概要(申込用紙の書式に記入)
2. 申込み方法
 - ・ 上記の事項を明記の上、添付の申込用紙を用いてファクシミリで日医総研にお申し込みください。
 - FAX番号: 03-3946-2138
 - 日医総研「医師会病院等の建設セカンドオピニオン」研究担当 畑仲卓司
3. 締切り
 - ・ 平成17年10月31日(月)まで必着
4. 選定結果のご連絡
 - ・ 平成17年11月7日(月)までに、順次選定結果をご連絡申し上げます。
5. 連絡先
 - ・ 〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16
 - 日医総研「医師会病院等の建設セカンドオピニオン」研究担当 畑仲卓司
 - 電話番号: 03-3942-6141

ケーススタディの結果の取扱

ケーススタディの結果については、申込者と協議の上ケーススタディの結果として、調査報告書の中に匿名の形で整理掲載させていただきます。

FAX 03-3946-2138

申込用紙 1 / 3

日本医師会総合政策研究機構 行き

(日医総研)

平成 17 年 月 日

日医総研 医師会病院等の建設セカンドオピニオン

ケーススタディ申 込 書

申込者氏名: _____ (日医会員)

所属医師会名: _____ 都道府県 _____ 医師会員

連絡先住所:

郵便番号 _____

連絡先電話番号: _____

所属機関名: _____

役職名: _____

申込の分野: 新築 耐震改修

その他 ()

(何れかに丸印を付けて、その他の場合は具体的に記入して下さい)

下記の添付用紙の枠内に可能な限りご記入の上、FAXして下さい。

1 新設・耐震改修予定 施設の名称	_____
2 建築主(個人の場合、 代表者名等を記入)	医療法人名等 _____ 代表者名等 _____
3 建築主の住所	_____ 都道府県 _____ 市区町村 _____
4 担当者名・連絡先	担当者名 _____ 電話番号 _____
5 建築予定地	
5-1 敷地住所	_____ 都道府県 _____ 市区町村 _____
5-2 敷地面積	_____ m ²

申込用紙 2 / 3

6 建築概要

6-1 建築規模(併設施設を含む該当数値を下線部に(以下同様)記入して下さい)

地下__階 地上__階 建築面積__m² 延べ床面積__m²

6-2 工事種別と構造種別(該当するものに○をつけて下さい。その他の場合は具体的に記入して下さい(以下同様))

工事種別/新築 耐震改修 その他(_____)

構造種別/木造 鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造 鉄骨造 コンクリートブロック造
その他(_____)

6-3 住宅・店舗等その他併設施設がある場合(施設の種類と規模を記入して下さい)

併設施設の種類 _____ 併設施設の延べ床面積__m²

6-4 設計・建設形態(該当するものに○をつけて下さい。設計には耐震改修計画を含む)

設計・施工一括発注 設計と施工の分離発注
その他(_____)

6-5 設計事務所の名称(設計・施工一括発注の場合のみ記入して下さい)

6-6 建設業者の名称(設計と施工の分離発注の場合のみ記入して下さい)

7 医療機能等

7-1 医療機関等の種類(該当するものに○をつけて下さい。病床がある場合病床数を記入して下さい。その他の場合は具体的施設名を記入して下さい)

無床診療所 有床診療所(一般__床、療養型__床) 病院(一般__床、療養型__床)

介護老人保健施設(____床) その他(_____)

7-2 診療科目(施設に整備する予定の診療科目に全て○をつけて下さい。その他の場合は具体的診療科名を記入して下さい。該当するものがない場合は記入しないで結構です)

内科 外科 脳神経外科 整形外科 形成外科 皮膚科 眼科 耳鼻咽喉科

泌尿器科 産婦人科 小児科 皮膚科 リハビリテーション科 神経科 精神科

呼吸器科 消化器科 循環器科 放射線科 その他(_____)

申込用紙 3/3

8 設計業務の進捗状況

8-1 基本設計業務の進捗状況(該当するものに○をつけて下さい。設計中の場合完了予定時期を記入して下さい)

完了 設計作業中 (完了予定時期 平成____年____月____日)

8-2 実施設計業務の進捗状況(該当するものに○をつけて下さい。設計中の場合完了予定時期を記入して下さい)

完了 設計作業中 (完了予定時期 平成____年____月____日)

9 建設業者の選定・進捗状況

9-1 建設業者への発注予定形態(該当するものに○をつけて下さい。特命随意契約以外の場合、参加業者数を<>内に記入して下さい)

入札 特命随意契約 見積合せ <____社>

9-2 建設業者からの見積提出状況(該当するものに○をつけて下さい。提出予定の場合は提出予定時期を記入して下さい)

提出済 提出予定 (提出予定時期 平成____年____月____日)

9-3 建設業者との契約予定時期(契約予定時期を記入して下さい)

契約予定時期 平成____年____月____日)

10 建築予定時期と建築予算

10-1 建築工事の予定期間

平成____年____月____日～平成____年____月____日

10-2 建築予算(医療用設備・家具備品等を除く、上記見積に対応したもの)

____億____万円

11 開業予定日

平成____年____月____日

12 建設セカンドオピニオンを検討することについて関係者より了解がとれていますか。(該当するものに○をつけて下さい。その他の場合は、カッコ内にその状況を記入して下さい)

設計事務所／了解済 その他(____)

建設会社／了解済 その他(____)

13 建設セカンドオピニオンに応募した理由・目的(なるべく具体的に記入して下さい)
